

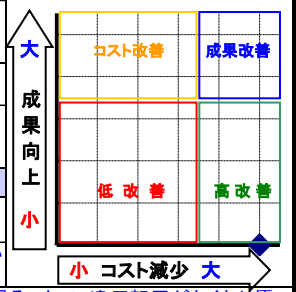
# 平成20年度 事務事業評価シート

事前評価日		平成20年5月19日		No.		8061 02		
基 本 事 項	事務事業名	農地パトロール事業		所管部署名	農業委員会 農地係			
	事業期間	平成19年度 ~ 未設定	事業年齢	1歳	事前評価責任者	森田 弘	連絡先	048 - 982 - 9494
	事業区分	<input type="checkbox"/> 法定受託事務	<input checked="" type="checkbox"/> 自治事務	根拠法令等	農地法、農業委員会等の関する法律			
	事務事業の性質	毎年繰り返し		執行方法	直営			
	基本 計画 関係	関連付け	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	直接事業費	<input checked="" type="checkbox"/> 有	<input type="checkbox"/> 無	
		大綱	魅力的で活力あるまちづくり(産業振興部門)		歳出 予算 科目	事業名	農業委員会運営事業	
		大柱	魅力ある農業の振興			会計区分	一般会計	
		中柱	生産基盤の整備			款	農林水産業費	
	小柱	優良農地の保全		項		農業費		
	第4期実施計画の位置付け	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無		目	農業委員会費			
個別計画の位置付け	計画名	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無	前年度の事務事業 有無・管理番号	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	806102			
目的 的	対象 (誰を、何を)	・市内の農地 ・農地所有者及び市民		手 段 (どのような事業 を行うのか)	・農地の荒廃や違反転用を防止優良農地を守るため、農業委員とともに市内の農地を監視パトロールし、違反転用や不法投棄などの問題点や課題を整理し、事後指導をする。農地所有者及び市民に対しては啓発活動をする。			
	意 図 (対象にどのような状態 になってほしい のか)	・優良農地の保全に努める。また、無断転用は違法である旨を理解してもらう。			事務事業を取巻く 環境の変化・実 施上の課題	・相続等による所有権移転での不在村地主(非農家)が多くなってきている。そのため、違反転用のおそれがある耕作放棄地が増加傾向にある。発見した違反転用農地の是正が長期化し、解決の見込みが困難な事例もある。		
類似事業	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							
業務プロセス(No.・名称)	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無							
事業関連ホームページ	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無		<a href="http://www.city.yoshikawa.saitamajp/10,1050,37,415.html">http://www.city.yoshikawa.saitamajp/10,1050,37,415.html</a>					

区分	区 分	平成18年度	平成19年度	平成20年度			平成21年度	平成22年度	
		決算(千円)	決算(千円)	予算(千円)	決算(千円)	増減額(千円)	当初(千円)	計画(千円)	
投 入 コ ス ト	① 直接事業費		212	201	208	-5	210	200	
	② 人件費		516	521		-516			
		正職員直接投入人員		0.06人	0.06人	0.05人	-0.01人	0.05人	0.05人
		正職員間接投入人員							
	③ 間 接 経 費 (加算)								
④ コスト対象外(除外)									
⑤ トータルコスト計(①+②+③-④)		729	722	208	-521	210	200		
資 源	⑥ 国庫支出金								
	国補助率								
	⑦ 県支出金		200	200	200	0	200	200	
	県補助率		-	-	-		-	-	
	⑧ 市 債								
⑨ そ の 他									
⑩ 受益者負担額(使用料・手数料等)									
	受益者負担率(⑩÷⑤)								
C	吉川市年間負担経費(A-B)		529	522	8	-521	10	0	
D	補助・単 独 区 分	<input type="checkbox"/> 全額補助		<input checked="" type="checkbox"/> 一部補助	<input type="checkbox"/> 補助事業の上乗せ・横出しあり		<input type="checkbox"/> 吉川市単独		

目 標 設 定 実 績	区分	指 標 名 (上段)	単 位	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
				目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	目標(見込)値 実績値	計画(見込)値	計画(見込)値
対 象 指 標	①	違反転用に対する是正指導	%		70	70	70	70
		是正指導の実績基準割合÷違反転用件数			30	40		
活 動 指 標	①	農地所有者、耕作者等への啓発活動	回			2	2	2
		市広報誌掲載、農委だより掲載			1	2		
	②	農業者等の会議での周知	回			5	5	5
		農事組合長会議、農業経営研究会等でのチラシ配付				5		
成 果 指 標	①	違反転用発見件数	件			0	0	0
		違反のおそれのある事例の指導件数			2	1		
	②	農業委員によるパトロール結果の報告書の提出	%			95	95	95
報告書の提出総数÷(農業委員数×実施件数)				100	94			

業績	区分	評価指標名(上段) / 指標の性質(下段)		平成18年度	平成19年度	平成20年度	成果向上とコスト改善ポジション	
	目標達成度	活動結果	② 農業者等の会議での周知 増加することが良いとされる指標					100.00% ★★★★★ 達成された
		成果結果	① 違反転用発見件数 減少することが良いとされる指標					
	効率性	結果	単位当たりコスト	トータルコスト×1,000円	単位	平成19年度		平成20年度
① 農地所有者、耕作者等への啓発活動				円/回	728,970	103,975	↑	
評価	説明	単位当たり経費変動率(当該年度単位コスト÷前年度単位コスト)÷前年度単位コスト)			-85.74%	コストが減少している		
		<p>・20年度から設定した指標であり、19年度との比較はできないが農地所有者に対し、農地の適正管理及び転用制度の理解を得ることで、違反転用がなくなり優良農地の保全や良好な環境の保全が図られる。</p>						



官民役割分担評価	公共性		実施主体の妥当性		市の関与の妥当性	受益者負担の妥当性
	より多くの市民に提供され、しかも日常生活に必要な不可欠なサービス	政策的意思決定を必要とし、かつ行政上の専門知識を必要とするサービス				
私益性・個人消費性	必要性		行政専門性		高	高
公益性・共同消費性	選択性		一般専門性		改善の必要性	改善の必要性
低	低		低		低	低

事業性	区分	評価	評価判断理由	
			役割分担	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり
有効性	目的(対象・手段)	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり	・農地の適正管理についての啓発や違反者に対する指導を行うことで、農業者間の公平性の維持を保つことができ、また、農地パトロールの実施回数が増により農業委員の意識向上も図ることができ妥当である。	
	意図	<input checked="" type="checkbox"/> 妥当 <input type="checkbox"/> 問題あり	・優良農地の保全と良好な環境を維持することで、市民の満足度向上に寄与することができる。	
評価	成果向上の余地	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・農地パトロールを増やすことで、違反転用の早期発見につながり是正措置も速やかに行うことができるため、農地パトロールの回数が増加することで成果の向上の余地がある。	
	上位施策への貢献度	<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> なし	・優良農地を保全し良好な環境を維持することができ、第4次吉川市総合振興計画で定める「人と自然が調和したまちづくり」や「魅力的で活力あるまちづくり」に貢献できる。	
	コスト改善の余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・直接事業費のほとんどが補助対象経費であり、コスト改善の余地はない。	
評価	受益者負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし	・受益者負担の発生しない事業であり、適正化の余地はない。	

改革改善	これまでの事業の改善状況とその内容	<input type="checkbox"/> 検討中 <input checked="" type="checkbox"/> 既に改善済 <input type="checkbox"/> 改善を検討したが、実施に至っていない <input type="checkbox"/> 改善した事項は、ない ・農業委員による毎月の農地パトロールで、違反転用の発見だけでなく農地転用許可後の転用状況をチェックし、報告書を提出するように改めた。
	二一ズ等の状況と課題	・違反転用の状態が長期間にわたっている案件が多く、是正ができない状況であり、違反転用の早期発見が重要である。
	今後の改革改善策	・無断転用の早期発見に努めるため、農業委員とともに農地パトロールの強化を図るとともに、農地所有者に対する啓発活動をさらに行っていく。
	改革改善により期待される効果	・農地の違反転用を防止することで、優良農地の確保や良好な環境が維持できる。

事業(一次評価)	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了 「改善のうえで継続」の場合の展開方針 <input checked="" type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善する(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化する
	「今後の方針」の説明(計画内容等)	・農地パトロールの実施とともに、農地所有者に対する農地転用制度を理解してもらうための啓発活動を充実する。そのため、農事組合を通じて、各種のイベントなどでの周知、HPでの情報提供を行っていく。

一次評価日	平成21年6月26日	一次(事後)評価責任者	飯島 功
二次評価	今後の方針	<input type="checkbox"/> 現状のまま継続 <input type="checkbox"/> 改善のうえで継続 <input type="checkbox"/> 他の事業に統合 <input type="checkbox"/> 廃止・休止 <input type="checkbox"/> 終了・完了 「改善のうえで継続」の場合の展開方針 <input type="checkbox"/> 拡大 <input type="checkbox"/> 手段を改善する(実施主体・手段の改善) <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> 効率化する	
	説明		
二次評価日			